

# 研究データ管理セルフラーニング教材

## 1. 目的

大学等研究機関において研究者の支援に関わる担当者が研究データ管理に関して理解しておくべき、知識・技術を修得する。

## 2. 到達目標

- 「研究データ管理サービスの設計と実践」コース  
研究支援者が研究者の研究プロセスに沿って、研究データ管理サービスの設計と実践方法を理解できるようになる。
- 「研究者のための研究データマネジメント」コース  
研究者自身が研究データ管理について必要な知識を得、また、研究支援者が、各機関の研究環境やニーズに応じた形で、研究データ管理サービスを提供することができるようになる。

## 3. 受講対象者

大学等研究機関における図書館員、URA、技術スタッフ等の研究支援者。

## 4. 受講の前提となる知識・技術

- パソコンの基本的な操作および文字入力を行うことができること。
- 国立情報学研究所の提供する学習管理システム「学認 LMS (※1)」上での学習となる。
- 所属機関が、学術認証フェデレーションへの申請資格がない等の理由により、学認 LMS の利用ができない場合は、OpenIdP (※2) を個人で取得し学認 LMS へログインすることも許可する。

※1 学認 LMS <https://lms.nii.ac.jp/> 機関による利用申請が必要である。

※2 OpenIdP <https://openidp.nii.ac.jp/>

主として IdP を運用していない機関に属するユーザに対してアカウントを発行し、OpenIdP と連携する SP が提供するサービスを利用できるようにするためのものである。詳細は OpenIdP ウェブサイトを参照すること。

## 5. 講習内容・教材

「研究データ管理サービスの設計と実践」コース「研究者のための研究データマネジメント」コースの 2 コースがあり、それぞれ以下から構成される。

- 教材
- 理解度テスト

詳細は「研究データ管理セルフラーニング教材」ウェブサイト参照のこと。

<https://contents.nii.ac.jp/hrd/rdm>

## 6. 到達度の確認

学認 LMS サイト掲載の理解度テストによる。

到達度の目安として、理解度テストの合格基準を目指す。

- 「研究データ管理サービスの設計と実践」コースの合格基準：70 点以上
- 「研究者のための研究データマネジメント」コースの合格基準：70 点以上

## 7. 修了証書

学認 LMS サイト掲載の理解度テストの合格基準に達している場合、申請により修了証書を取得することができる。

詳細は上記ウェブサイトを参照のこと。